

## 2020年度 「グローバル人材育成事業」実施報告

### 1. グローバル人材育成講座

コロナ禍のため、オンラインにて「SDGs をビジネスで実践！ ソーシャルビジネス発案講座」を3回連続プログラムとして開講した。定員25名としていたが、申込が好調につき増員し実施した。

#### 【概要】

社会課題を持続可能なビジネスで解決する「ソーシャルビジネス」の事例紹介から、なぜ今SDGsが重要なのか？どのように事業創造をするのか？を学び、チームでソーシャルビジネスを考案する。

#### 【講師】

西井 香織氏 (NEWRON 株式会社 代表取締役 CEO、近畿大学経営学部 非常勤講師)

#### 【受講人数・内訳】(延べ人数)

受講学生：6大学・27名/定員25名

※大学別：大阪大学4名/大阪教育大学2名/大阪樟蔭女子大学3名/大阪工業大学2名  
阪南大学9名/近畿大学7名

学年別：1年生10名/2年生8名/3年生7名/4年生2名

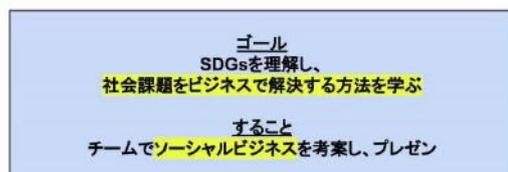
#### 【実施スケジュール・内容】

	日程・時間	講義内容
第1回	8月24日(月) 14:00~16:00	・SDGsとその重要性の説明 ・ソーシャルビジネス事例紹介 ・チームでオンラインホワイトボード Miro を用いてビジネスアイデアをシェア
第2回	8月31日(月) 14:00~16:00	・ビジネスアイデアブラッシュアップ ・グーグルスライドを利用したグループワーク
第3回	9月7日(月) 14:00~16:00 16:00~17:00	・各グループプレゼン発表 ・ゲスト審査員からフィードバック ・オンライン反省会及び交流会

#### 講義資料抜粋

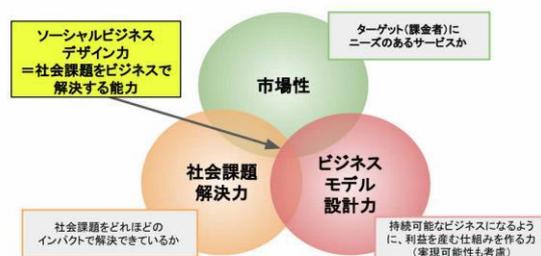
##### 本講座のゴール&最終アウトプット

NEWRON



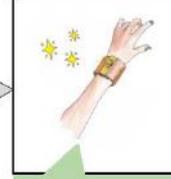
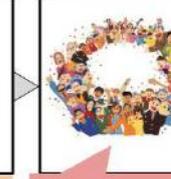
##### 審査基準:ソーシャルビジネスデザイン力

NEWRON



講義の様子



<b>サービス名:バンゲル型エコバッグ</b>		チーム名:TAKERU NISHIMURA	
<b>サービスUVP:いつもその手にエコバッグ!</b>			
<b>ターゲットとその課題・ニーズ</b> 20代の学生や社会人の女性 エコバッグを持ち歩くことになれていない。 機能性よりもファッション性を大事にしている。	<b>代替手段と不適理由</b> ついで買いの際はエコバッグを持っていないことが多く、ビニール袋や紙袋にお金を出すのが高麗らしい。 エコバッグのデザインがダサイ。		
 <p>(友達と遊んだついでに梅田で服でも買おうっと！)                  店員「紙袋代30円になります」                  A子「やばっ！エコバッグ忘れ</p>	 <p>隣の人「エコバッグ持ってます！」(隣のバンゲルをほめてエコバッグに)                  A子「なにこれ！バンゲル</p>	 <p>店員「こちらにバンゲル型エコバッグもご用意していますよ！」                  A子「え、服屋さんに売って</p>	 <p>～10年後～                  世の中から紙袋やビニール袋が不必要に生産されなく</p>

<b>解決シート</b>	解決する社会課題:異文化理解・交流、小さな企業・個人のグローバル化への対応 ソリューション:在日外国人をTransによってつなぎ、安いお金で翻訳などの幅広い需要に対応するサービス
チーム名:⑦地域・農業	

**ビジネスモデル**

ターゲット①とその課題・ニーズ:ネイティブの声を聞きたい(雇いたい)が、余裕のない小さな企業・飲食店、お金のない個人

外国人を派遣

登録

給料

登録

給料

在日外国人

チャット・電話・ビデオ通話機能(無料)で交流できる

Trans(トランス)

利用料 (回数ごと払い・月額払い)

企業 飲食店 個人

マネタイズ:企業・お店、個人からの月額利用料

ターゲット②とその課題・ニーズ:自身の言語・特性を生かして何かしたい人・お金を稼ぎたい人、在日外国人同士で繋がりたい人

<b>解決シート</b>	解決する社会課題:学生のストレス(うつ・自殺)+α教師(及び多忙な人)のストレス ソリューション:どこでも寝やすい枕の提供!
チーム名:チョコクワッサン	

**ビジネスモデル:商品**

机、靴等に固定できる枕

固定用のバンド(マグネットを用いて)がドーナツがたの枕についてる  
 モバイルバッテリーが内蔵  
 移動時にはカバーを、また、付属品で冷感カバーをつけられる

使い方① 学校の机に突っ伏して寝るときの枕  
 ② 電車で靴を抱えて寝るときの枕  
 ③ 温感、冷感座布団としても  
 ④ 靴につけて持ち運ぶ  
 ← 映える工夫を施す  
 ⑤ ベッドの枕に付けてとイヤホンをして寝ころんでも耳が痛くない  
 +α 昼寝時間に教師も枕を使って寝れる  
 → 多忙な教師のストレス軽減にも

イメージ図

ターゲット①とその課題・ニーズ:  
 学校:昼寝時間を設けた学校・学生に有意義に昼寝してほしい  
 ターゲット②とその課題・ニーズ:  
 学生(公的な昼寝時間がない学校(大学等)):家での睡眠もより快適に

チーム名:Health Delivery 誰がどのように困っているのか? ・小売店(スーパーなど)は廃棄の量などから世間的に評判が下がる。仕入れの面からみても ・子供に食事を与えられない親が市や町のサポートも受けられない状況であればどのように家計を立てるかで困る ・食品廃棄の際に排出される二酸化炭素が地球温暖化を促進し、動物の生息場所が失われる ・将来的に飢饉や栄養失調で亡くなる人の数が増える	<b>【社会課題分析シート】</b> <b>社会課題</b> ・需要はあるけど捨てられる食品が多い ・飢餓をなくするために必要な援助量より日本が食べれるのに捨てている食品の量が二倍ほど多い ・食品を製造するのも廃棄するのもお金がかかる	名前:かわじ、よだ、うえすぎ <b>社会課題が起きている原因</b> ・過去のデータなどに基づいて搬入が出来ていない ・もったいないと思いつつ捨てている人と安くほしいという人がマッチできていない ・予測不可能な事象(東日本大震災の放射線の影響や鳥インフルなど)で影響を受けた食材は廃棄に回される ・食べ残しに罪悪感を持たない人がいる(購入しているため) ・自分は今食べられているから、将来のことを気にしていないから
ソーシャルインパクト (解決することで社会的価値) ・廃棄の量を減らし多くの人が当たり前のようにご飯を食べることが出来る ・外国からの見え方が変わる(日本食はおいしいだけではなく廃棄も少ない) ・廃棄を減らす際に出る二酸化炭素を抑え地球温暖化対策につながる	<b>理想の状態</b> 捨てられる食材を買いたい人に安価で提供してフードロスをゼロに	